

第26回

宮沢賢治賞・イーハトーブ賞

宮沢賢治に関する優れた研究や、その精神を実践している人に贈る「宮沢賢治賞」と「イーハトーブ賞」の本年度の受賞者が決定しました。
贈呈式は9月22日(木・祝)、午前10時から、なはんプラザで行います。

【問い合わせ】本庁賢治まちづくり課(☎24-2111内線371)

イーハトーブ賞



司修さん

1960年代半ばから大江健三郎、島尾敏雄、中上健次など数多くの作家に芸術性の高い装丁を提供し、76年、講談社出版文化賞を受賞。その一方、独立した絵画・小説・エッセイ・絵本を制作しています。賢治への関心も表現しており「イーハトーヴォ幻想」(96年)などの著書や「グスコブドリの伝記」(2012年)などの絵本があり、多様な手法による関連絵画の個展を次々開催しています。賢治に深い共感を抱きながら、ジャンルを横断するかたちで文学出版文化を高めてきた功績が高く評価されました。

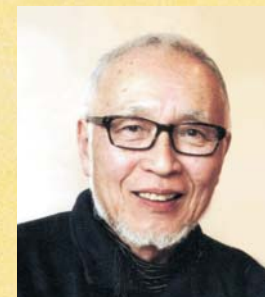
本市が決定・表彰する 「宮沢賢治賞」「イーハトーブ賞」

ことしで26回目となる「宮沢賢治賞」「イーハトーブ賞」。この二つの賞は、本市が毎年度、候補者の選考について「宮沢賢治学会イーハトーブセンター」(※)に意見を求め、その選考結果を受けて決定、表彰するものです。

今回の選考対象は、宮沢賢治賞が9件、イーハトーブ賞が12件。厳正な審査の結果、宮沢賢治賞は本年度「該当者なし」、宮沢賢治賞奨励賞、イーハトーブ賞、イーハトーブ賞奨励賞に各1人を決定しました。

※宮沢賢治とその作品を研究、愛好する人たちが交流し、賢治と賢治の作品に対する理解を深めることを目的とした組織

宮沢賢治賞奨励賞



加藤 昌男さん

銅版画家の加藤さんは1996年に「賢治曼陀羅蔵書票」シリーズの制作をはじめ、2014年に特装本「賢治曼陀羅蔵書票」12巻を完成させたほか、草山万兎(河合雅雄)「宮沢賢治の心を読む」I~III(童話屋、11年、12年、15年)の挿絵を担当しました。イーハトーブ館で開催した「百八賢治曼陀羅蔵書票展」(15年)のほか、賢治童話をモチーフとした個展も多く開催。また「宮沢賢治の童話を語る会」や「宮沢賢治を読む会」を主催しており広く深い童話読解に裏打ちされた独自の陰影深い銅版画表現が高く評価されました。

イーハトーブ賞奨励賞



野口 田鶴子さん

盛岡市に生まれた野口さんは、国立音楽大学オペラ研究室を修了後、イタリアに留学。ヨーロッパ中世歌曲の演奏活動に入りました。帰国後も演奏活動を続け、声楽家の道を歩んでいましたが、1986年、けいれん性発声障害により活動の中心を声楽から賢治作品の朗読に移しました。賢治作品の朗読という領域で、方言を生かしながら、作品を深く理解した芸術的で独自の朗読法を創造。定期的に活動してきた功績や、東日本大震災に寄せてのチャリティー公演を行ってきた功績が高く評価されました。

宮沢賢治記念館 特別展

「雨ニモマケズ」展



宮沢賢治記念館特別展

平成28年 9月17日(土)〜25日(日)
午前8時30分〜午後7時



宮沢賢治記念館 〒025-0011 岩手県花巻市矢沢 1-1-36
Tel.0198-31-2319 Fax.0198-31-2320

賢治生誕120年を機に「雨ニモマケズ」が書かれた賢治自筆の手帳と、詩人で彫刻家の高村光太郎が揮毫した「雨ニモマケズ」詩碑の原文を展示します。
いずれの資料も宮沢賢治記念館初公開です。

■会期

8月20日(土)〜28日(日)
※引き続き8月30日(火)から9月13日(火)まで同展を開催しますが、「雨ニモマケズ」手帳は複製、詩碑原文は拓本に展示替えします

■開館時間

午前8時30分〜午後7時30分

●ギャラリートークを開催

8月21日(日)、午後1時30分

■ゲスト

株式会社林風舎代表取締役の宮澤和樹さん

「賢治の青春」展

宮沢賢治が盛岡高等農林学校(現岩手大学農学部)在学中に学友と共に創刊した文芸同人誌「アザリア」。「賢治の青春」展では「アザリア」全6巻と、友人に宛てた書簡数通を紹介します。

■会期

9月17日(土)〜25日(日)
午前8時30分〜午後7時

◆入館料

◆小・中学生…150円(100円)
◆高校生・学生…250円(200円)
◆一般…350円(300円)
※()内は20人以上の団体料金

【問い合わせ】

宮沢賢治記念館(☎31-2319)



▶「雨ニモマケズ」詩碑(桜町)



▲「アザリア」全6巻